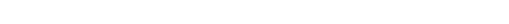
第 2 章 子育で家庭を取り巻く環境



1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

主な保育者の状況をみると、「父母ともに」(54.0%)と「主に母親」(43.0%)が大半を占めています。

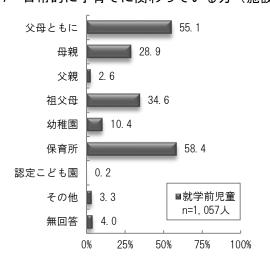
第2章 子育て家庭を取り巻く環境

こうした状況の中で日常的に子育てに関わっている方(施設含む)は、保育所(58.4%)、「父母ともに」(55.1%)、「祖父母」(34.6%)、「母親」(28.9%)の順になっています。また、子育てに影響を与える環境は、「家庭」(86.4%)が最も多く、次いで「保育所」(54.4%)、「幼稚園」(13.5%)「地域」(11.4%)、の順になっています。

0. 1 1. 4 0. 9 就学前児童 0.6 43. 0 54. 0 n=1,057人 0% 25% 50% 75% 100% ■父母ともに ■主に母親 ■主に父親 ■主に祖父母 ■その他 ■無回答

問6 主な保育者の状況

問7 日常的に子育てに関わっている方(施設含む)



家庭 地域 幼稚園 保育所 認定こども園 その他 1.5 ■就学前児童

25%

50%

子育てに影響を与える環境

n=1,057人

75%

100%

問8

無回答

4. 1

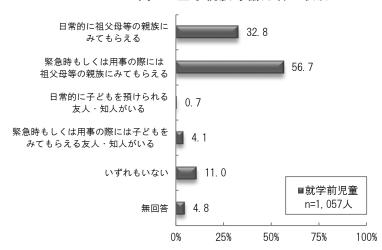
0%

13

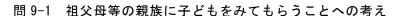
主な親族等協力者の状況をみると、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の 親族にみてもらえる」(56.7%)が最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族 にみてもらえる」(32.8%)の順になっています。

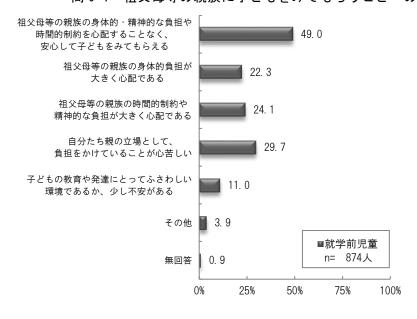
`* ~ / ` * ~ / /

祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考えに対して、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(49.0%)がいる一方で、祖父母の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(46.4%)もほぼ同数います。また、友人・知人に預かってもらうことへの考えに対して、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」(35.6%)がいる一方で、友人・知人の身体的・精神的な負担を心配しながらも子どもを見てもらっている方(22.2%)となっています。



問9 主な親族等協力者の状況







友人・知人の身体的・精神的な負担や 35. 6 時間的制約を心配することなく、安心して 子どもをみてもらえる 友人・知人の身体的負担が 2. 2 大きく心配である 友人・知人の時間的制約や 20.0 精神的な負担が大きく心配である 自分たち親の立場として、 37. 8 負担をかけていることが心苦しい 子どもの教育や発達にとってふさわしい 0.0 環境であるか、少し不安がある

その他

無回答

2. 2

8. 9

25%

問 9-2 友人・知人に預かってもらうことへの考え

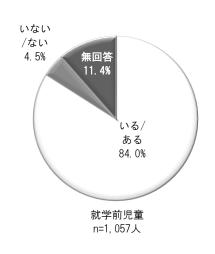
(2)子育てに関する相談者の状況

気軽に相談できる人の有無をみると、「いる/ある」(84.0%)が最も多くなって います。

0%

気軽にできる相談者の状況は、「祖父母等の親族」(79.8%)が最も多くなって います。

問10 気軽に相談できる人の有無



問 10-1 気軽にできる相談者の状況

■就学前児童

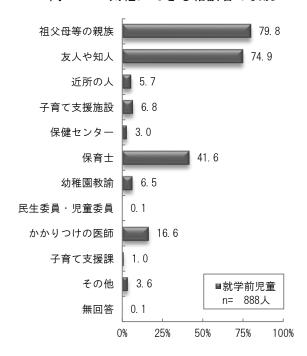
75%

45人

100%

n=

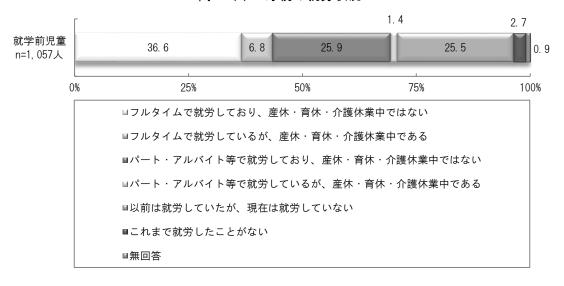
50%



2 主な保育者とその就労状況

(1) 母親の就労状況

母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(36.6%)、をはじめ 7 割近くが就労し、現在「産休・育休・介護休業中」の方が8.2%います。

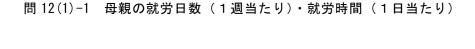


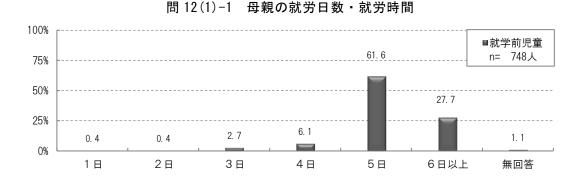
問 12(1) 母親の就労状況

母親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(61.6%)、「8-9時間」(46.3%)、 が最も多く、「6日以上」が27.7%います。

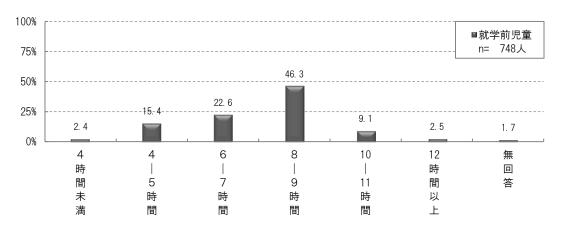
母親の出勤時間は、「7時台」(39.3%)、「8時台」(34.2%)、「9時台」(10.0%)の順になっています。

また帰宅時間は、「18-19 時台」(43.6%)、「16-17 時台」(30.1%)の順に多く、20 時以後の帰宅は 4.0%になっています。

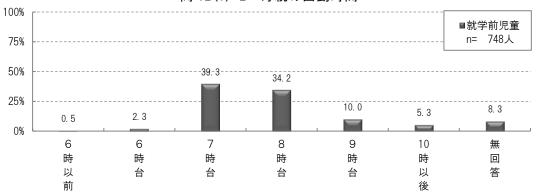




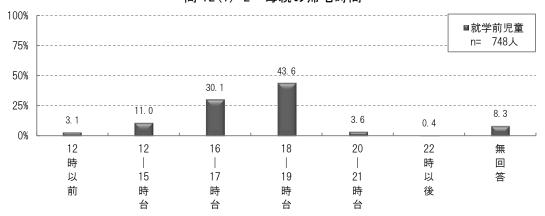




問 12(1)-2 母親の出勤時間



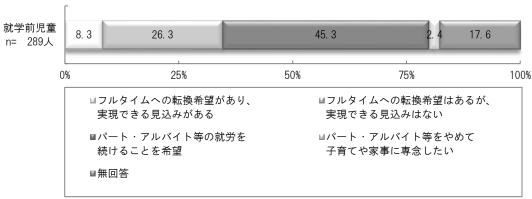
問 12(1)-2 母親の帰宅時間



母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望 する方は 34.6%いますが、実現できる見込みのある方は 8.3%と1割弱に留ま

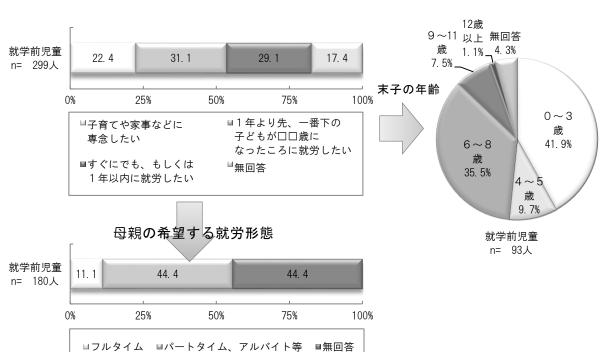
~*~/~*~/~*~/<u>`</u>

っています。



問 13(1) 母親のパートタイムからフルタイムへの転換意向

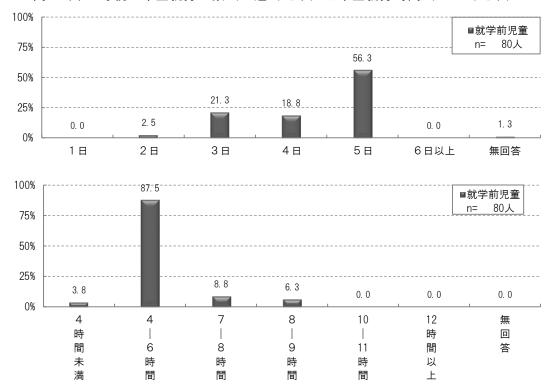
就労していない母親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が 60.2%となっており、その内訳は「1年より先、一番下の子どもが口口歳になっ たころに就労したい」(31.1%)、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」 (29.1%)、希望する就労形態は「パートタイム、アルバイト等」(44.4%)、「フ ルタイム」(11.1%)であり、就労時期となる子どもの年齢については「〇~3 歳」(41.9%)、「6~8歳」(35.5%)、「4~5歳」(9.7%)の順でした。



問 14(1) 就労していない母親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢

~/~ * ~/ ~ * ~/ ~ * ·

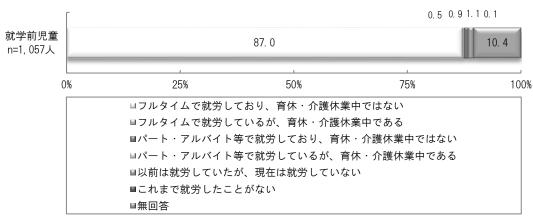
母親の希望する就労日数と就労時間をみると、就労日数「5日」(56.3%)、「3日」(21.3%)、「4日」(18.8%)の順、就労時間「4-6時間」(87.5%)、「7-8時間」(8.8%)の順になっています。



問 14(1) 母親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)

(2) 父親の就労状況

父親の就労状況をみると、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」(87.0%)が最も多くなっています。



問 12(2) 父親の就労状況



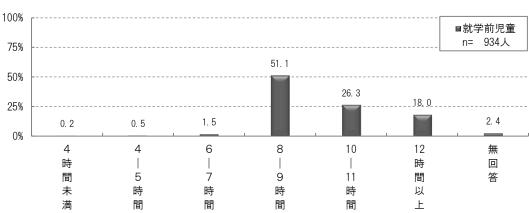
父親の就労日数・就労時間をみると、「5日」(48.4%)、「8-9時間」(51.1%)、 が最も多く、「6日以上」(47.5%)、「10-11時間」(26.3%)、「12時間以上」 (18.0%) となっています。

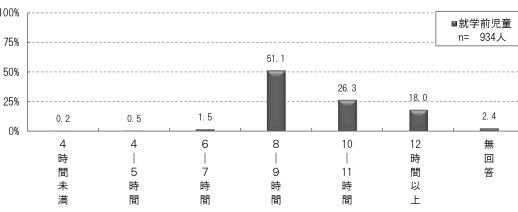
父親の出勤時間は、「7時台」(47.6%)、「8時台」(18.7%)、「6時台」(15.3%) の順になっています。

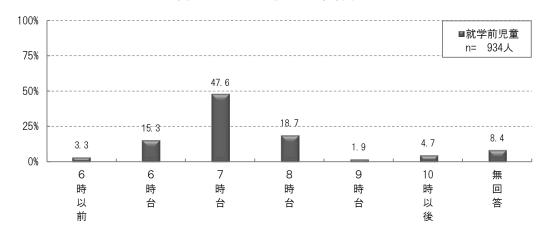
また帰宅時間は、「18-19 時台」(42.6%)、「20-21 時台」(21.1%)の 順、22時以後の帰宅は約6%となっています。

100% ■就学前児童 n= 934人 75% 48. 4 47. 5 50% 25% 0. 5 0. 9 1.1 1. 5 0. 1 0% 1日 2日 3日 4日 5日 6日以上 無回答

問 12(2)-1 父親の就労日数 (1週当たり)・就労時間 (1日当たり)



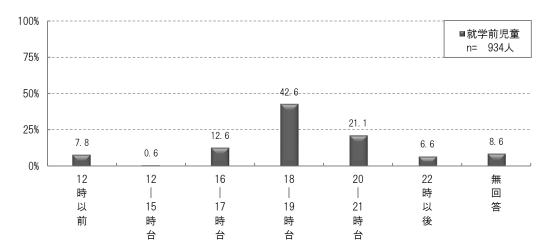




問 12(2)-2 父親の出勤時間

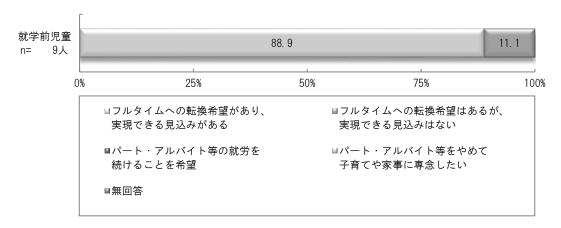


問 12(2)-2 父親の帰宅時間



父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向をみると、フルタイムを希望 する方は88.9%いますが、実現できる見込みのある方はいませんでした。

問 13(2) 父親のパートタイムからフルタイムへの転換意向



就労していない父親に対して今後の就労希望をみると、就労したい方が69.2%となっており、その内訳は「すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい」(61.5%)、「1 年より先、一番下の子どもが口口歳になったころに就労したい」(7.7%)、希望する就労形態は「フルタイム」(55.6%)、「パートタイム、アルバイト等」(11.1%)となっています。

就学前児童 61. 5 30. 8 13人 n= 0% 25% 50% 75% 100% 末子の年齢 ■1年より先、一番下の ■子育てや家事などに 子どもが□□歳に 専念したい 6~8 なったころに就労したい ■すぐにでも、もしくは 単無回答 100.0% 1年以内に就労したい 父親の希望する就労形態 就学前児童 n= 1人 就学前児童 55. 6 11.1 33. 3 9人 0% 25% 50% 75% 100% ■フルタイム ■パートタイム、アルバイト等 ■無回答

問 14(2) 就労していない父親の今後の就労希望と就労希望時の末子の年齢



父親の希望する就労日数と就労時間をみると、回答者は1人と少数となっています。就学前児童では、就労日数は「5日」の回答、就労時間は「10-11時間」と答えています。

問 14(2) 父親の希望就労日数(1週当たり)と希望就労時間(1日当たり)

